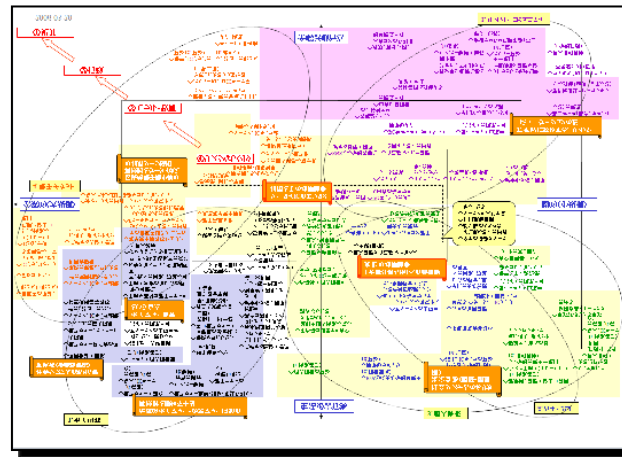


# (ご参考事例) 情報ツールと生活の将来、の共同研究PJ

## 「ICチップ搭載ケータイが普及した、近未来社会の便益とリスク」(非営利研究機関とのアライアンス)

- ICチップをケータイに搭載することが具体化してきた2005年に実施。
- モバイルITデバイスとしてのあらゆる利用可能性を想定し、実現が想定される時系列にあわせて、セキュリティ、セーフティ、コミュニケーショントラブル等のリスク要因別に起きうる事象を洗い出し、起きうるシーンと根拠を加えて「近未来の課題曼荼羅」を作成。
- 課題構造と対策(誰が何をなするか・・・ビジネスシーンも、法規制も、・・・)までをブレークダウンできる資料とし、プレスリリースの準備を整えた。



### 《のち、息の長いテーマ展開に》

- 金融サービスでのリスク展開可能性にフォーカスした研究会を運営、提言発表(2007～10年)
- 青少年利用シーンでのリスク展開可能性にフォーカスし、教材と問題集を作成(2006年)
- 当時の政府IT戦略の重点施策にシンクロ可能な再構成版を作成、関係者に説明(2006年～07年)。
- 2013年冬の、ビットコインをめぐる議論にも完全対応、都度情報発信。